

全国大会エクスカージョンツアー
震災資料保管庫・人と防災未来センター見学
～阪神・淡路大震災での被災経験からこれからの防災を学ぶ～
開催報告

タイトル	全国大会エクスカージョンツアー 震災資料保管庫・人と防災未来センター見学 ～阪神・淡路大震災での被災経験からこれからの防災を学ぶ～
主催	公益社団法人土木学会関西支部
協力	阪神高速道路株式会社・人と防災未来センター
日時	2022年9月30日(金) 13:00～17:30
参加者数	16名(うち学生・若手土木技術者(40才以下) 7名)

■はじめに

土木学会関西支部では、令和4年度土木学会全国大会が関西で実施されることを踏まえ、関西に甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災の被災、復旧経験を風化させることなく、後世に継いでいきたいという想いのもと、全国大会エクスカージョンツアーとして、阪神高速道路株式会社様と人と防災未来センター様の協力を得て、震災資料保管庫および人と防災未来センターの見学会を実施しました。

『阪神・淡路大震災での被災経験からこれからの防災を学ぶ』をテーマとした当見学会では、普段見ることができない兵庫県南部地震で被災した阪神高速道路の構造物や様々な資料の見学に加え、これからの防災に関する様々な知識を深めていただくなど、阪神・淡路大震災での被災状況とそこから得た教訓を学んでいただきました。

■震災資料保管庫の見学

まず阪神高速道路の構造物が兵庫県南部地震によってどのように被災し、復旧していったのかを映像を視聴し学びました。兵庫県南部地震を経験していない世代の参加者もあり、当時の被災状況の映像を真剣に見ていました。

次に、2班に分かれて震災資料保管庫に展示されている兵庫県南部地震で被災した実際の構造物を阪神高速道路の技術者の方に説明していただきながら見学しました。展示されている被災構造物からは、想像を超える地震の凄まじいエネルギーを実感することができました。また、被災後に二次災害を防ぐために応急補強をした構造物など当時の状況を知る貴重な構造物が展示がされていました。

■人と防災未来センター見学

人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災の状況を再現した映像を視聴し、地震直後の生々しい状況を思い出すとともに、震災の経験と教訓を後世に伝える必要性を感じました。今回の見学会では、普段は入ることができない震災資料の保管庫にも入らせていただき、阪神・淡路大震災に関する膨大な新聞の保管状況の説明を受けたり、当時の状況を知る貴重な資料を見ることができました。

また、自然災害に対する備え、防災知識を楽しく学習するブースもあり、あっという間に見学が終了しました。

■ご参加の皆さまへ

この度は、全国大会エクスカージョンツアー『震災資料保管庫・人と防災未来センター見学 ～阪神・淡路大震災での被災経験からこれからの防災を学ぶ～』にご参加いただきありがとうございました。皆さまのご協力により、無事に見学会を終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

皆さまからいただいたご意見は、今後の学会行事や企画に活用させていただきます。

土木学会関西支部では、今回のような見学会を年に数回程度企画しております。コロナ禍でなかなか実施できていませんが、開催できた折には、皆さまに再度お会いできることを楽しみにしております。

ご参加いただきありがとうございました！

■見学先関係者の皆さま

全国大会エクスカージョンツアー『震災資料保管庫・人と防災未来センター見学 ～阪神・淡路大震災での被災経験からこれからの防災を学ぶ～』の開催にあたり、阪神高速道路株式会社ならびに人と防災未来センターの皆様におかれましては、事前準備、当日の安全管理、案内、誘導や説明に至るまで、様々なご配慮と多大なるご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今回は全国大会の企画ということもあり、多くの若手技術者が参加されていました。参加者からは、「参加して良かった」等多くの感想をいただき、参加者の皆様の今後の活躍につながる見学会になったと感じております。

今回のエクスカージョンツアーを無事に開催できましたこと、あらためて感謝申し上げますとともに、今後とも学会活動に、ご支援ご協力の程、宜しく願い申し上げます。